

発行：2015年9月1日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0221 山口市大内矢田北3丁目9-1 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

「地球環境基金」平成27年度交付決定

今年度で3年継続最終年度に際し目標達成 100%をめざし果樹への転換と苗木の育成を重点項目として村人とともに協働します。

平成27年度目標転換農地面積 300rai (48ha), 植栽苗木 10,000本 (ラムヤイ・マンゴー・他)

転換完了農地は、ひときわ目立つようになり村人も自分たちの努力の成果を自我自賛しています。しかしこれから数年間の後、収穫までが正念場、覚悟はしているものの大変な状況です。少しでも現金収入をと、ショウガ、落花生、インゲン豆、陸稲、を苗木の空間に栽培し、転換終了した数十世帯では、バンコク、イスラエル、韓国、台湾へと収穫までの収入源を求め残った家族に苗木の成長管理を任せての出稼ぎは後を絶ちません。(この3年間の海外出稼ぎは、入れ替わり通年40世帯を超えています。)



マンゴーへの転換共作 (陸稲)



ラムヤイへの転換地共作 (落花生・虫除けハーブ)



社会教育事務所との合同開発作業 (崩落防止ヤーフェーの植栽)



ヤーフェーの植栽完了



ヤーフェーの植栽作業



村への進入路の補修作業

「Green Fund」 「緑の募金」 平成 27 年度事業認証 (当会初) 交付決定

かねてより、助成申請していた「緑の募金」助成が認証され現地村人と共に喜びと感謝しています。当該村は、現行行事業の村とまったく同様の境遇の村で、村の存続が危ぶまれる状況下で何とか立ち上がろうと遺伝子組み換えトウモロコシから果樹転換へと先行村のモデルを目標に努力している状況です。過酷な生活を余儀なくされているホイドウア村、このたび「緑の募金」で、5,400本(25ha)のマンゴー、ラムヤイが植栽できて少し希望の兆しが見えそうな状況で、村人の士気も高揚しはじめています。これからの支援により加速が付き軌道に乗るまでの間、住民と共に協働します。



ホイドウア村への苗木運搬 (劣悪の進入路)



苗木配布作業



植栽準備完了農地



ラムヤイ植栽作業



植栽協働作業 (ラムヤイ植栽)



「Green Fund」 現地揭示看板



植栽完了確認調査



スタディーツアー無事終了 8月18日バンコク爆発事件により1団体中止に！

恒例の eco スタディーツアー予定どおり、日本からの出発当日福岡空港集合直前バンコク爆発事件ニュースで報道されバンコク泊経由でチェンライ空港からツアーに参加予定していた山口県立大学の8名は、急きょ危険を避けるためツアー中止となりました。

同日すでにバンコクで宿泊中の徳島大学7名は、予定どおりチェンライからツアー参加となりました。

日程は、8月19日、20日：チェンライ大学学習交流、21日～23日：シャンティ学生寮交流学习、24日～26日：ホイプム村（山岳民族モン族）ホームステイ、シャンティ山プロジェクト学習、27日～28日：チェンマイ環境学習（メーサーエレファントキャンプ・ドイステープ寺院・エアポートプラザ） 怪我も病気もなく全日程無事終了しました。（お疲れ様でした。）



チェンライ大学 学習交流



Phu Chi Fa(ラオス国境)



シャンティ寮での稲苗補修植替



シャンティ寮での刺繍交流



文化交流会



ホイプム村保育所訪問



モン族伝統のお餅つき体験（お餅は、殺菌力のあるバナナの葉っぱにくるみます。）黒糖蜜を付けていただきます。

ホストファミリーの皆さんとのお餅つき、家族ごとの夕食会、農業体験やスポーツ、文化交流で共に過ごし楽しいひと時でしたが、反面、複雑思いと様々な課題を背負って帰りました。

（後日 PHAYAO レポートで各自詳細を報告します。）

～環境支援募金にご協力をお願いします。～

20150901saeki